

大網白里市障がい福祉計画に係るヒアリング結果（事業者）

No.	事業者名
1	社会福祉法人 ワーナーホーム
2	社会福祉法人 翡翠会
3	NPO法人 コスモス
4	NPO法人 福祉アシストワーク協会
5	NPO法人 ジョブファーム
6	株式会社 和光
7	一般社団法人 紫宝会
8	コーエキ合同会社
9	株式会社 ベストグローウ
10	医療法人社団 昌健会

1 事業所の主な事業（貴事業所の主な事業を記入してください。また、その事業の利用状況を記入してください。）

社会福祉法人 ワーナーホーム

- ・相談支援
計画作成の依頼に対し事業所内で検討するが、即時対応し受けている。
今後も依頼は可能な限り対応していきたい。
- ・生活介護
日中活動の場であり、日中生活の介護及び介助入浴を実施している。
ゆったり過ごせる場の提供を行っている。
定員を満了す時とそうでない時と波がある。
- ・自立訓練（生活訓練）
調理、買い物、掃除等の生活に関する事柄の訓練を行う。
定員6名で、曜日によって若干空きがある。
訪問については、要相談で行っている。
- ・就労移行支援、就労継続支援B型
草刈り、清掃等施設管理、農作業、軽作業等及び就労支援。
- ・ケア付き共同住居
空きはあるが、体験利用者の入居が見込まれることと予約者がいる。
- ・共同生活援助
主として精神障害をお持ちの方が共同生活を送っており、概ね定員を満了している。
- ・短期入所事業
定員の中で長期的に利用している人（入所先を検討中または待機中）が半数以上いる。
- ・居宅介護
利用希望は多くあるが、在籍ヘルパーで訪問できる範囲に限度がある。
- ・障害者就業・生活支援センター
登録者数358名（うち当市98名 在職者50名、求職者48名）

1 事業所の主な事業（貴事業所の主な事業を記入してください。また、その事業の利用状況を記入してください。）	
社会福祉法人 翡翠会	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所支援・生活介護 施設入所は常に満床であり、生活介護も定員を満たしている状況。 ・相談支援 計画相談は入所者と地域の登録者で100件を超えており、新規の相談が受けにくい状況。 ・短期入所 ニーズが多く単独短期事業所を増設した。
NPO法人 コスモス	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型 定員20名、現員23名で厚労省定員超過計算式では、25名まで利用可能。
NPO法人 福祉アシストワーク協会	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型 内職の受注（箸袋入れやおしぼり入れ、ダストボックスの包装、車の部品を入れる筒作り、フィルムの型紙入れ等） <p>※登録人数は定員より4名多いが、実際は定員を満たすことはない。</p>
NPO法人 ジョブファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援、就労継続支援B型 福祉と農業を融合しているため、小規模ユニット制を採用しているため、定員に空きを設け、きめ細かいサービスを提供している。 今後、増やすようであれば職員の人材育成を経て、サービスが低下しないように徐々に増やしていきたいと考えている。
株式会社 和光	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助 2事業所、定員122名：入退居はあるが空室はほとんどない状態。 ・就労移行支援 3事業所、定員60名：時々定員を割ることがあるが現在は満床状態。 ・就労継続支援B型 4事業所、定員80名：常に満床状態。

1 事業所の主な事業（貴事業所の主な事業を記入してください。また、その事業の利用状況を記入してください。）	
一般社団法人 紫宝会	<ul style="list-style-type: none"> ・短期入所 定員を満たしている。 ・自立訓練（生活訓練） 定員を満たしている。 ・就労継続支援B型 定員を満たしている。
コーエキ合同会社	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援 ほぼ定員を満たしている。 ・放課後等デイサービス ほぼ定員を満たしている。 ・日中一時支援 時々利用がある（月に数回程度）。
株式会社 ベストグロー	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援 未就学児を受け入れ、運動療育を実施（定員10名で空き有）。 ・放課後等デイサービス 就学時を受け入れ運動療法等を実施（定員10名で空き有）。 ・指定障害児相談支援事業 新規利用者の計画相談、既存利用者のモニタリング。
医療法人社団 昌健会	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護 主にサービス付き高齢者住宅おおあみの里に入居している方を中心に、居宅介護を提供しており、日中の時間帯には定員に空きがある。 ・重度訪問介護 指定を受けているが、現状居宅介護の利用のみで重度訪問介護の利用者はない。 今後も居宅介護を中心として、事業を実施していく予定である。

2 事業の課題について（日ごろ事業を展開していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）

社会福祉法人 ワーナーホーム

- ・地域の方、また、関係機関においても委託相談事業と特定相談事業との区別がついていない。
 - ・計画相談のモニタリングの回数が市町村によって異なる。
 - ・相談支援区分の調査時の見立て、判断に市町村と調査員によって差がある。
 - ・特定相談の登録者が増えたため、相談員を増員したが現行の報酬では運営が厳しい。相談支援業務をしっかりと行っていることを評価してほしい。
 - ・介助入浴の際、同性介助を行っているため、職員の男女比について、バランスをとることに苦慮している。
 - ・送迎範囲について、時間と職員の調整が必要であり、片道30分以上の場所については、検討している。
 - ・多様な障がいに対応するため、職員の専門性が求められる。
 - ・受注業務が不安定であり、安定した作業確保が課題。作業代支給金額が毎月変動してしまう。
 - ・関係機関には周知されているが、一般の方には周知されていない。
 - ・大網白里市には就職先が少ない（福祉施設等の就職先は多い。）。
 - ・コミュニティバスの運行経路が限定的。
 - ・人材について、支援内容が多様なため、対応できるような人材確保、高齢化に対する介護支援のスキルアップが求められる。
 - ・利用者の高齢化や重度の方の受け入れにより、夜間・緊急の対応が増えてきている。
 - ・医療機関との連携について、精神、内科等の入院を要する際に医療機関の受け入れ条件が厳しく対応してもらえないことがある。利用者の状態を把握し早めの対応が必要である。
 - ・入所先の確保ができずに長期的になってしまっている利用者がある。
 - ・本人のニーズと家族、関係機関のニーズが合わず、ショートステイ中に病状を崩すことがある。
 - ・従事者の確保と定着が課題の一つである。
- 特に今年度は職員の体調不良による長期欠勤が重なり、現場は苦しい時期を過ごしていた。

2 事業の課題について（日ごろ事業を展開していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）

<p>社会福祉法人 ワーナーホーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従事者の資質向上を意識していくことが必要である。 ・利用者との関わりが朝・夕方が中心なので時間外労働が多くなる。 ・受診同伴が増加しており、一人の利用者に関わる時間が増えている。 ・障害者限定の事業所のため、体調不良、受診等でのキャンセルが多いことから、収入の安定が難しい。 ・入院、利用者の変更、介護への移行、逝去等で利用者の定着が難しい。 ・単独での居宅訪問が基本であるため、従事者の確保と定着が難しい。 ・訪問地域が広範囲であるため、移動距離、時間のロス、ヘルパーの疲労が生じてしまう。
<p>社会福祉法人 翡翠会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの事業も利用ニーズが高く、定員がいっぱいの状況であるが職員の確保が難しく、退職者の補填にも苦勞している。 また、利用希望者も行動障害のある方が多く、受け入れを行うためのノウハウや整備が不十分である。
<p>NPO法人 コスモス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員（支援員）の確保が困難。 募集しても、良い人材が確保できないばかりかアルバイトさえも難しい。 また、産休中の職員は保育所が満員で復職できずに困っている。 ・従業者の賃金向上が出来ない。 内職仕事の受注では、工賃の向上は頭打ちとなり、それ以上は伸びない。 ・送迎支援員の確保が困難 現在、送迎運転手2名にて行っているが来年より1名増加したい。 また予備員も1名を確保したいが、募集中だが問い合わせも来ない。

2 事業の課題について（日ごろ事業を展開していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）	
NPO法人 ジョブファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・“福祉”と“農業”を融合することで、役所の窓口が社会福祉課のみでなく、農業振興課や商工・観光課、JA、シルバー人材センター等の様々な機関と連携を展開したい。 ・障がい者と農業を事業として展開する上で、指導者の人材育成、また、農業を通じての障がい者の確保、通年で安定した仕事を確保するバランスが今後の課題である。 ・障害者法定雇用率 2.0%が、2018年には、2.3%に増えると予想されており、障がい者の声としては、毎日働きたくないとの声もよく耳にします。 「働きたい時（体調の良い時）に働いて、働いた分の収入で生活をやりくりする」等の様々なスタイルに応じた働き方でも良いのではと思う。 障がい福祉も「就職」や「定着」ばかりに着目するのではなく、「一般就労」と「福祉的就労」の間にもう一つ部門を作っても良いのではないかと思う。 障がいを“ひとづくり”でまとめようとする考え方は無理があると思う。
株式会社 和光	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の確保が難しく、知識不足の職員が増えてきているため、自社内で社員研修等を行っているが限界がある。 ・職員の認識の個人差が大きく、会社全体としての資質向上への取り組みに悩むことが多い。
一般社団法人 紫宝会	<ul style="list-style-type: none"> ・人員の確保が難しい。 ・個別支援計画書等の利用者情報を整理し、職員が利用者の状態を把握するとともに、情報を共有することが必要。 ・利用者とその家族の必要な情報の入手に支障がある。 ・女性職員の不足、夜勤可能な女性職員の確保。 ・職員間での情報の伝達不備。
コーエキ合同会社	<ul style="list-style-type: none"> ・活動スペースが狭く、トイレが1つしかない。 ・男性スタッフが少なく、たまにしか利用しない児童の支援計画作りが難しい。 ・年齢に合わせた配慮や工夫、集団活動でのレベル合わせが難しい。
株式会社 ベストグロウ	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の確保、質の向上、維持が難しい。 ・業務量が多く、記録、避難訓練、研修等をこなすのがやっとなのである。

2 事業の課題について（日ごろ事業を展開していくうえで、どのような点が課題であると思いますか。）

医療法人社団 昌健会

- ・ 帳票類の作成や業務管理等、サービス提供責任者等の業務を行うことのできる職員の育成や確保が困難である。
- ・ 障がい福祉サービスの申請方法や手続き、また、サービス事業所で必要な帳票類や事務手続きの手順等の情報を得ることが困難。

3 今後の事業展開について（事業所として、今後、どのような事業に重点的に取り組んでいきたいですか。）

<p>社会福祉法人 ワーナーホーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定事業所加算の検討をしたい。 ・基幹相談支援センターの設置運営に協力していきたい。 ・高齢障がい者の受け入れと対応をしていきたい。 ・地域にお住いの障がい者の受け入れ。 ・平成30年4月より障がい者の法定雇用率が2.2%引き上げとなることや、就労定着支援事業創設に伴い、就労支援に更に力を注ぐ（就職へのモチベーションを高め、準備性を高める訓練を行う。）。 ・利用者一人ひとりのニーズに沿った支援。 ・高齢、重度精神障がい者の方の受け入れが出来るようにグループホームの定員を増やす。 ・障がいに対応できるスキルアップ、受け入れ体制を整える。 ・ショートステイの目的で利用を希望する人（例えば本人の休息や家族の都合等）が利用できるよう長期的な利用者の居住の確保に協力する。 ・重度の利用者や緊急時にも対応できる人材育成と職員体制を整えたい。 ・駅に近くコンビニやスーパー、飲食店等に恵まれた立地であることは、特に重度の利用者にとっては刺激や危険なものとなることがあるが、その特色を強みに障がいをお持ちの方が地域で安心して生活するための拠点の一つでありたい。 ・精神に特化した事業所を全面に出していきたい。 ・ヘルパーの人員が増えてくれば、利用者や相談支援事業所からのニーズがある「移動支援」にも手を伸ばしていきたい。
<p>社会福祉法人 翡翠会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいを持った方が地域で暮らすためにはグループホーム等、少人数での生活の場が、まだまだ必要であり、法人としても前向きに取り組んでいきたいと考えている。

3 今後の事業展開について（事業所として、今後、どのような事業に重点的に取り組んでいきたいですか。）	
NPO法人 コスモス	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所には、相談支援専門員2名の有資格者がいるが相談支援事業は行っていない。現在の事業が多忙であり、これ以上の職員の負担は不可能である。しかし、将来、当事業所利用者のみであれば、相談支援を行うべきか検討している。 ・当事業所の利用者の保護者は高齢化が進んでいるため、近い将来グループホームへの入居が必要となることからグループホーム事業を展開したい。しかし、相当の設備投資の費用が掛かることから慎重に進めたい。
NPO法人 ジョブファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の産業（農業）を当法人のユニットがサポートするシステムを構築したい。現在、白里地区からの仕事が多く、移動時間及び燃料代がかさんでいる。この対策として空き家等を活用し、ワゴン車を1台準備することで空き家から半径約3キロ内の農家を手助けしている。このようなユニットを増やして地域で就労の場を見出していきたい。 ・いちごの新品種「真紅の美鈴」や我々が取り組んでいる「日本酒（幸）」を地元の名物になるよう6次産業を意識して展開したい。
株式会社 和光	<ul style="list-style-type: none"> ・事業規模を現状維持していく。サービスの向上や整備の拡充を中心として取り組む予定。 ・グループホームは利用者重視の住環境整備を行い、就労支援ではやりがいを持ち、就職活動や余暇活動ができるように支援する。
一般社団法人 紫宝会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合った生活支援に取り組んでいきたい（個別支援を重視）。 ・利用者のメンタルケア。 ・就労以外の作業の充実（草取り等のボランティア活動等）。 ・利用者個人に合った自立プランを作成し、それにあつた就労を紹介する。 ・ゴミ拾い等の地域貢献活動を通じて、地域の人たちの理解を得る。
コーエキ合同会社	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も安全に安心して過ごせる居場所作りをしていきたい。 ・地域とのつながりを増やしていきたい。 ・就労支援に向けた取り組みをしていきたい。

3 今後の事業展開について（事業所として、今後、どのような事業に重点的に取り組んでいきたいですか。）	
株式会社 ベストグロー	・要望があれば他地域へ開所していく。
医療法人社団 昌健会	・居宅介護を中心に、主に併設しているサービス付き高齢者住宅の入居者向けのサービス提供を実施していく。

4 事業者への支援について（事業を展開していくうえで、地域の人々や行政に、どのような支援を希望しますか。）	
社会福祉法人 ワーナーホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の特徴として、公共交通機関等の利便性が悪いため、車での移動手段しかない人も多いことから、低額、ボランティア等での移動支援を行っている団体や事業所が増えることを望んでいる。 ・生活訓練事業において、特に精神障がいがある利用者の場合、次の活動に移ったり、目標を立てて順序よく自立していけることが少なく、一進一退を繰り返しながら少しずつ進んでいくことが多い。 <p>そのため、有効期限2年である本事業の延長が必要に応じて、スムーズに行えると良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者雇用促進のための地域、企業への理解が広まる活動。 ・実習受け入れ先の企業開拓。 ・障害者就業・生活支援センター事業を広めてほしい。 ・利用者や施設に偏った見方はせずに理解してほしい。 ・行事に参加や協力してほしい。 ・利用者に適したサービスの支給決定、社会資源の情報提供をしてほしい。 ・利用者の状態に合わせて支給日数を検討してほしい。 ・障がいのある方と地域の方がお互いに顔の見える関係づくりができることが理想的である。 ・地域生活を支援するために必要な居宅介護事業所が存続していられるよう支給量や支給内容を必要に応じて支給決定してほしい。
社会福祉法人 翡翠会	<ul style="list-style-type: none"> ・今の福祉業界はマンパワーが絶対的に不足しており、働き手の確保が課題の一つとなっているため、広報等でのイメージアップをお願いしたい。
NPO法人 コスモス	<ul style="list-style-type: none"> ・市の支援体制として内職（市役所内での事務処理等に関わる）仕事を発注していただきたい。 ・市への要望としてボランティアの募集記事を広報誌に年3回掲載していただきたい。
NPO法人 ジョブファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・当法人が目指す「障がい者でも地域に役立つ仕事を一般就労の場として確立する」という目標を掲げ、シルバー人材センターより価格を低く設定するよう考えている。 <p>地域で存在する様々な仕事を発見するためにも様々な団体や組織との連携を密にして、情報提供を支援していただきたい。</p> <p>地域で困っていることで、当法人で手伝える仕事があれば教えていただきたい。</p>

4 事業者への支援について（事業を展開していくうえで、地域の人々や行政に、どのような支援を希望しますか。）	
株式会社 和光	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム事業を行う上で、地域の方の理解は必要不可欠であるが、場所により一部協力的でない方や心無い方もいる。 ・住居の近辺で何か起きた時に利用者が疑われたりすることもあり、集会等で説明していても十分に理解を得られないことがある。 ・地域の方と共にノーマライゼーションな地域を目指していきたいことから、行政等が間に入って一緒に説明してもらいたい。
一般社団法人 紫宝会	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が地域や行政の行事に積極的に参加して交流を持てるように支援してほしい。 ・近隣の方々への施設の理解。 ・新たな利用者受け入れのための施設設置に関わる建物の紹介。
コーエキ合同会社	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々からの理解。
医療法人社団 昌健会	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい福祉サービスや介護保険サービスに従事する職員の人員確保のための施策の実施。

5 市の事業について（市に対して、とくに充実させてほしい事業がありますか。）	
社会福祉法人 ワーナーホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の相談支援の充実を図るためには、基幹相談支援センターの設置が必要。 障害をお持ちの方が相談支援事業所を見つけられなくて苦勞したり、相談する場所が無く、たらい回しにされている現状がある。 ・受診同伴や引きこもり者への外出支援を充実させてほしい。 ・アウトリーチ。 ・通所している利用者に対しての交通費助成。 ・コミュニティバス等の交通機関の充実を図って、外出（通所、買い物、通院等）がしやすくなる とよい。 ・緊急時の短期入所の利用者について協力体制を整えてほしい（例えば、利用者送迎や支給決定遡 及対応等）。 ・福祉車両の助成。 ・従事者同士の交流や情報共有の場の提供。
社会福祉法人 翡翠会	<ul style="list-style-type: none"> ・市の予算で相談員を増やしてほしい。
NPO法人 コスモス	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム建設用地の市所有の土地の貸与をしていただきたい。 ・市、県への要望として、就労継続支援事業更新（6年ごと）は現在、政令指定都市を除き県が審 査しているが、市へ移管していただきたい。 また、各種報告や申請、巡回指導も市へ移管していただく方が良いと思われる。 ・災害時障がい者避難計画を作成していただきたい。 市内避難場所、支援員配置、必要物資貯蔵、医療機関体制、予算措置等（障がい別も要検討）。
NPO法人 福祉アシストワーク協会	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関を充実させてほしい
NPO法人 ジョブファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・地域生活支援事業の有効活用と周知が大切ではないのだろうか。 ・国が考える「地域移行」、「地域共生」と言っても「障がい者が地域に役立てる事」を確立しない となかなか浸透せず地域の方が認めてくれないと思います。 地域性をよく理解し、お互いに支え合えることを見出せて、はじめて「地域移行」、「地域共生」が 成り立つものと思います。

5 市の事業について（市に対して、とくに充実させてほしい事業がありますか。）	
株式会社 和光	・ 広く障がい者への偏見の解消や障がいに対する理解を深める啓発活動を進めてもらいたい。
一般社団法人 紫宝会	・ 利用者ができる簡単な作業の紹介をしてほしい。 ・ スポーツができる運動場や場所の提供をしてほしい。 ・ 障がい者が楽しめる映画や舞台の鑑賞会
コーエキ合同会社	・ 窓口での対応が早く、これからもお願いしたい。
医療法人社団 昌健会	・ 障がい福祉サービスや介護保険サービスに従事する職員の人員確保のための施策の実施。